

発刊にさいして

筑波大学の発足からずいぶん遅れてしまいましたが一昨年秋、三〇〇名を越える皆様
がたのご賛同を得まして、念願の筑波大学哲学・思想学会を発足させることができました。
うれしにかぎりでした。昨年、評議員選挙の実施、学会規約の決定、会員名簿の作成を終
りました。そして今年、機関誌「哲学・思想論叢」を発刊いたします。

この論叢は、今後、毎年発行し続けていきます。これは、実は、容易な事業ではありま
せん。しかしわたくしたちは、会員全員の熱意と協力によって、これを成し遂げていきま
しょう。そして、永い将来にわたって、わたくしたちのこの論叢を育てていきましょう。

会員全員の熱意と協力が結集されていくためには、この論叢が魅力あるものになっ
ていくことが必要です。わたくしたちは努力して、この論叢の思想研究を、しっかりした研究
があるだけでなく、生きた思想があるものにしていこうではありませんか。

会員全員の熱意と協力が結集されていくためには、また、若い世代の会員だけでなく、
古い世代に属する会員の紙面への積極的な参加が必要です。古い世代に属するかたがた
に、とくにお問い合わせしておきます。

本号は創刊号ですので、特別な企画が考えられないではありませんでしたが、時間の関
係もありまして、第3回大会当日を期して発行し、軌道に乗せることを優先させました。
ご了承ください。

一九八二年秋

高木 勘 弍